

ウオダス

漁海況速報

No. 1614



発行日 平成 20 年 3 月 17 日

http://www.applenet.jp/~aosui/

発行 青森県水産総合研究センター

TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778

住所 〒038-2761 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸 384-37

3月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土	日
2	3	4	5	6	7	8	1
9	10	11	12	13	14	15	2
16	17	18	19	20	21	22	3
23	24	25	26	27	28	29	4
30	31						5

○津軽海峡東口流量調査の結果、北海道側は沿岸親潮（1℃台）、青森県側は津軽暖流（8℃台）

鰺ヶ沢 (3月11日～15日)

ヤリイカ底建網	73隻	5,493.2kg
マダラ底建網	21隻	225.0kg
マダライ底建網	1隻	11.2kg
サクラマス底建網	1隻	2.0kg
ウスメバル底建網	11隻	6.0kg

平館 (3月11日～15日)
定置網 66隻

ヤリイカ	1,173.1kg
ヤマアジ	247.5kg
マサバ	44.2kg
マダライ	12.0kg
サクラマス	17.3kg
スルメイカ	32.0kg

尻労 (3月6日～10日)

サクラマス一本釣	8隻	86.0kg
ウスメバル一本釣	1隻	28.0kg

(3月11～15日)

サクラマス一本釣	62隻	843.0kg
(1,022.0kg) 定置網	3隻	179.0kg

八戸 (3月11日～15日)

サケ他定置網	2隻	191.4kg
--------	----	---------

佐井 (3月6日～15日)
(取りまとめ中)

白糠 (2月26日～3月15日)
(取りまとめ中)

新深浦 (3月11日～15日)

ヤリイカ定置網	20隻	183.8kg
(21,868.5kg) 底建網	228隻	21,684.7kg
マダライ定置網	1隻	3.7kg
(5.1kg) 底建網	4隻	1.4kg
マダラ定置網	5隻	51.6kg
(431.7kg) 底建網	46隻	380.1kg
ウスメバル定置網	2隻	0.9kg
(24.2kg) 底建網	70隻	23.3kg
ブリ定置網	10隻	35.4kg
(113.4kg) 底建網	12隻	78.0kg
サクラマス定置網	28隻	947.6kg
(1,146.1kg) 底建網	42隻	198.5kg
サバ底建網	5隻	300.8kg



大畑 (3月11日～15日)

ヤリイカ定置網	14隻	531.4kg
(550.6kg) 底建網	8隻	19.2kg
マダライ底建網	1隻	0.8kg
(4.2kg) 刺網	1隻	3.4kg
サクラマス定置網	13隻	37.6kg
(5,460.2kg) 一本釣	215隻	5,422.6kg
マダラ定置網	1隻	1.8kg
(757.9kg) 底建網	8隻	690.1kg
一本釣	1隻	66.0kg
ウスメバル底建網	1隻	0.2kg
(22.9kg) 籠	2隻	22.7kg
クロマグロ定置網	1隻	9.8kg
ブリ定置網	8隻	5.9kg

主要魚種の動き

○ヤリイカ (全漁法・3月11～15日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(8月～)	昨年同期累計比
鰺ヶ沢	5,493kg	104%	273,464kg	228%
新深浦	21,869kg	117%	339,919kg	354%
深浦	195kg	17%	32,692kg	354%

(陸奥湾)

平館	今回	前回比	漁期累計(8月～)	昨年同期累計比
平館	1,173kg	129%	9,825kg	493%

(津軽海峡)

大畑	今回	前回比	漁期累計(8月～)	昨年同期累計比
大畑	551kg	69%	27,927kg	36%

○サクラマス (全漁法・3月11～15日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(12月～)	昨年同期累計比
新深浦	1,146kg	320%	5,474kg	36%
(津軽海峡)				
大畑	5,460kg	107%	27,410kg	440%

○マダラ (全漁法・3月11～15日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(11月～)	昨年同期累計比
鰺ヶ沢	225kg	34%	25,833kg	393%
新深浦	432kg	90%	5,302kg	199%
沢辺	348	38%	47,108kg	113%

大戸瀬沖の平均水温 (ブイのデータ: °C)

	1m層	10m層	20m層
3月11～15日	8.64	8.68	8.77
前回差	+0.32	+0.28	+0.27

漁獲数量はほたてがいが増加、あかいか減少 (19年の県統計②)

平成 19 年の漁獲数量を魚種別にみると、最も多かったのは、「ほたてがい」の 100,987 トン（構成比 34.2%）で、「するめいか」79,045 トン（26.7%）、「さば」51,395 トン（17.4%）、「あかいか」17,721 トン（6.0%）、「さけ」5,900 トン（2.0%）の順となっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加したのは「ほたてがい」28,285 トン（対前年増減率 38.9%）、「するめいか」26,844 トン（51.4%）、「ぶり」922 トン（72.0%）、「たら」876 トン（23.1%）などとなっている。

一方、漁獲数量が減少したのは「あかいか」30,391 トン（△63.2%）、「さば」6,117 トン（△10.6%）、「いわし類」3,112 トン（△54.6%）、「さけ」1,029 トン（△14.9%）などとなっている。

深浦 (3月6～10日)

ヤリイカ定置網	4隻	87.0kg
(1,164.0kg) 底曳網	6隻	330.0kg
底建網	22隻	747.0kg
フクラギ定置網	4隻	432.0kg
ウスメバル刺網	6隻	381.0kg
サクラマス定置網	8隻	224.0kg

(3月11日～15日)

ヤリイカ定置網	4隻	195.0kg
サクラマス定置網	4隻	252.0kg

小泊 (3月11日～15日)

ヤリイカ棒受網	13隻	1,208.0kg
ウスメバル一本釣	59隻	522.0kg

下前 (3月1日～5日)

ヤリイカ一本釣	8隻	23.6kg
(980.6kg) 棒受網	24隻	957.0kg
ウスメバル一本釣	9隻	352.8kg

沢辺 (3月11日～15日)

ヤリイカ定置網	3隻	248.0kg
(589.0kg) 底建網	11隻	112.0kg
刺網	2隻	9.0kg
棒受網	1隻	220.0kg
マダラ底建網	5隻	348.0kg
ウスメバル刺網	9隻	84.0kg
マサバ底建網	2隻	26.0kg
サクラマス定置網	1隻	12.0kg

三厩 (3月11～15日)
(取りまとめ中)

※大戸瀬漁協は、平成20年1月より新深浦町漁協となりました。

沿岸各地の水温

日本海 8 ~ 9 台
陸奥湾 3 ~ 8 台
津軽海峡 7 ~ 9 台
太平洋 6 ~ 7 台

今回は全域にて昇温傾向で、特に関根浜、泊においては強い昇温傾向がみられました。平均前回差は+0.2度となりました。

昨年と比べると、日本海、津軽海峡で+0.4度、陸奥湾内で-0.3度、太平洋側で-0.2度となっており、平均昨年差は-0.0度となっています。

平年と比べると、陸奥湾、太平洋で平年並み、津軽海峡でやや高め、日本海ではかなり高めとなっていました。平均平年差は+0.7度となっています。

(3月11~15日)

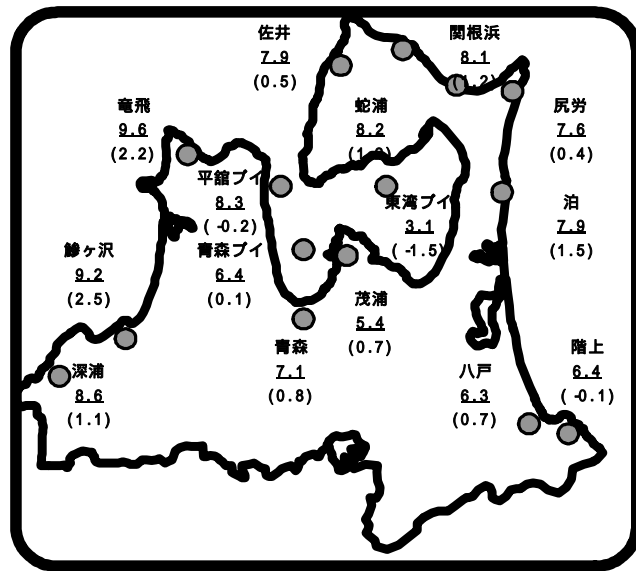


図 定地水温 (3月11~15日)
平均値 (平年差) ブイ 1 m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	8.6	+1.1	+0.1	+0.1
鱒ヶ沢	9.2	+2.5	+0.7	+1.0
竜飛	9.6	+2.2	+1.2	-0.3
佐井	7.9	+0.5	+0.3	+1.0
青森	7.1	+0.8	+0.5	+0.8
蛇浦	8.2	+1.2	+0.2	+0.9
関根浜	8.1	+1.2	-0.3	+2.0
尻屋	7.6	+0.4	-0.7	+0.8
泊	7.9	+1.5	+0.4	+2.3
八戸	6.3	+0.7	+0.6	+1.0
階上	6.4	-0.1	-1.2	+0.5
茂浦	5.4	+0.7	+0.9	+0.7
平館	8.3	-0.2	-0.9	+0.4
青森	6.4	+0.1	-0.2	+1.3
東湾	3.1	-1.5	-1.9	+0.2
平均	7.3	+0.7	-0.0	+0.9

太平洋の海況 (3月13~16日)

概況; 沿岸水温は5~6台

太平洋沿岸域の表面水温

5~6台で、前回と変わっていません。これは前年同期と比べ2~3度低い水温となっています。

津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し

5等温線で見ると東経141度30分付近までで、張り出しは前回より弱くなっています。

親潮系冷水の南下

5等温線で見ると北緯37度40分付近までで、張り出しは前回より強くなっています。

日本海の海況 (3月13~16日)

概況; 沿岸水温は9台

日本海沿岸域の表面水温

9台で、前回と比べ1度ほど昇温しています。これは前年同期と比べ1度ほど低い水温となっています。

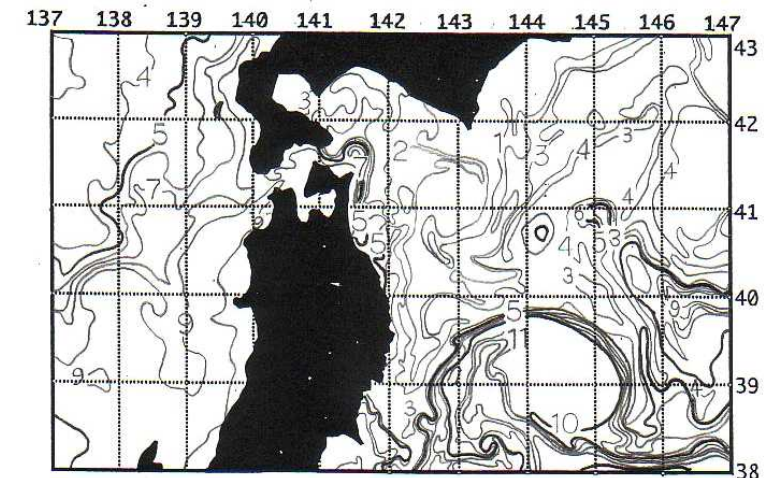
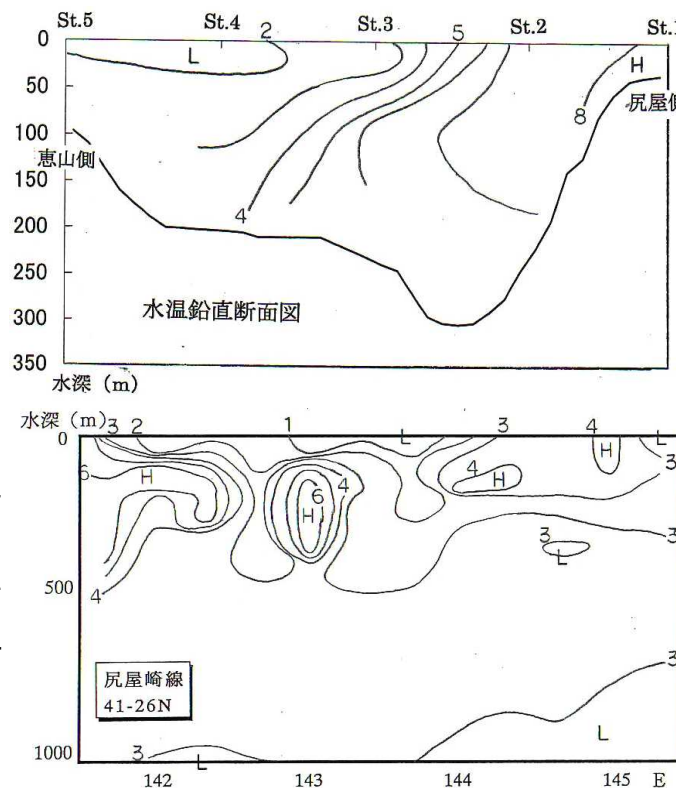
津軽海峡東口流量調査に係る海洋観測結果

試験船開運丸は3月12~13日に津軽海峡東口で流量調査を行いました。図は、その際に実施した観測結果で、左側が北海道(恵山)側、右側が青森県(尻屋)側です。

この図をみると、北海道側の表面水温が1台で、青森県側にかけて8台と水温が高くなっていました。北海道側は沿岸親潮、青森県側は津軽暖流が流れていたことがわかります。

試験船情報

試験船開運丸は2月29日~3月3日に太平洋の沖合定線観測を行いました。そのときの尻屋線東方の水温鉛直断面図を示しました。津軽暖流は東経142.5度まで張り出しがみられますが、143度付近にも暖水がみられました。表面では0台の冷水が東経143~144度にみられ、親潮もほぼこの付近に張り出しがみられていました。



資料:(社)漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況情報 第98号 3月17日